

だるまっ子

令和3年2月

第11号

伊豆市立修善寺小学校

静岡県体カアップコンテスト

みんなでドッジボールラリー部門
全学年 金賞に輝く



現代の子どもたちは、自由に遊べる広場が少なくなりつつあり、また、TVゲームの普及など、様々な要因によって屋外で体を動かすことが少なくなり、体力が低下してきていると言われています。そこで、静岡県では毎年体カアップコンテストを行っています。このコンテストには、友達とかかわりながら運動する楽しさや達成感を味わってほしいという願いとともに、運動する習慣を身につけ、友達との仲間づくりにも役立ててほしいという願いがあります。

修善寺小学校の今年度の合い言葉は、「チャレンジ やさしさ たくましさ」です。子供たちは、毎日外で体を動かして遊んでいますが、このコンテストの「みんなでドッジボールラリー」にチャレンジすることで、やさしさやたくましさをいっそう身につけてほしいと願いました。これまで、学年ごとに目標を設定し、友達と関わり合いながら記録にチャレンジしてきました。

その結果が、このほど発表されました。全学年が金賞記録を超えました。そして2年生が県1位になったのを始め、全学年が4位までに入るという素晴らしい結果でした。それ以上に素晴らしかったのは、子供たちがチャレンジする過程の大切さにも気づいたことです。教職員一同、子供たちの成長を実感しています。保護者の皆様には、子供たちに励ましの言葉をかけていただきました。ありがとうございました。

ドッジボールラリーを終えて 「6年生 学級だより」から抜粋

- ・私たちBチームは、最初はなかなか100回いかなくて、120回は夢だと思っていたしクラスで150回いけるチームはあるわけがないと思っていました。でもその夢が達成できたのは、先生に言われなくても進んで「ドラリ、やろう！」という声かけや、全力で朝、20分休み、放課後に練習するクラス全員の姿勢のおかげだと思います。(中略) ドッジボールラリーで、そこに向かう姿勢や練習努力の大切さがわかったので、この経験を残りの学校生活や中学校に生かしていきたいです。
- ・ぼくがドッジボールラリーを終えて思ったことは、投げるのがうまくなったなあ、ということです。これでドッジボールでも大活躍！！でも、キャッチはまだまだなので、これからもっとうまくなっていきたいです。もう一つは、「がんばれば結果はついてくる」ということです。ぼくはこれまでこんなに努力したことがなかったので、「ああ、それってこういう感じなんだ」と思いました。(後略)



(文責：矢田)

